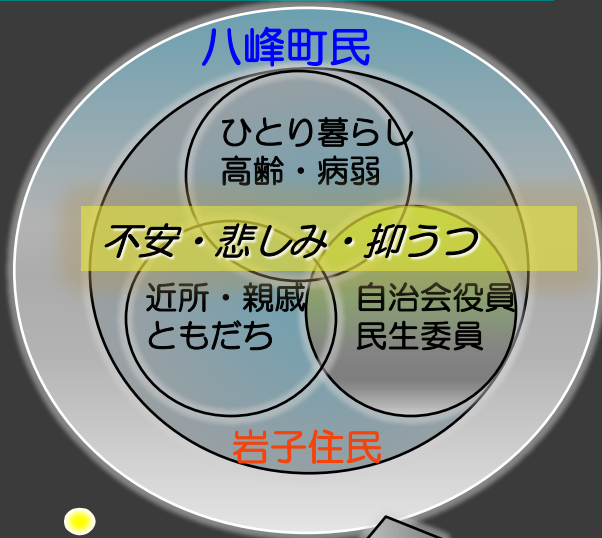


無理心中事件 発生

◎ 緊急地域ケア（自治会介入）

- ・関係者緊急連絡会議（情報の共有・対応協議）
- ・自治会懇話会
「悲しみと向き合う～地域のつながりを大切に～」
- ・全戸訪問（70世帯）と「こころのたより」2回配布
- ・個別訪問と専門家による個別面接
- ・福祉保健関係者研修会
講演「うつ病の基本知識について」
講演「介護に関わる事件と介護負担を減らすために」

岩子自治会住民心のケア・支援計画



支援メニュー（支援者）

- A. **個別支援**；訪問・面接（民生児童委員・家庭相談員・保健師
心理学専門家の介入）
- B. **地区住民支援**；懇話会・健康相談・全戸訪問
（町・自治会・社協・包括支援・民生児童委員）
- C. **住民による住民支援**；出前サロン（陽だまりの会）
- D. **住民への情報提供**；こころのたよりの配布・広報（保健師）
- E. **その他**；老人クラブや周辺地域への健康教育（保健師他）

支援関係者会議

- 6/30 7/9 関係機関緊急支援会議
（社協・包括支援・地域振興局・役場）
- 6/30 7/1 自治会長・民生児童委員懇談
- 7/2 包括支援センター・居宅支援事業所
連絡会議

支援関係機関・団体

八峰町・民生児童委員会・陽だまりの会・社会福祉協議会
包括支援センター・居宅支援事業所・山本地域振興局
秋田大学他

- **自死遺族ケア**
能代保健所・町保健師同伴で遺族2人に訪問
※H19 ふれあいネットワーク会議から原因を探る
調査の必要性を提言されていた。
※訪問(実態調査)が遺族ケア になった。
- **心の健康づくり調査**
実施主体； 町・秋田大学医学部
30歳以上の町民
対象6,899人 回答率84.0%
※調査結果 から **心の傾向の地域差明確に!!**



平成21年度

「平成21年度の課題」

- *自殺が多い地区での具体的な対策*
- *はたらき盛りの男性を対象とした対策*
- *町職員のネットワークの構築*

【新規】

- 心と生命の俳句コンテスト
- 八峰町版心のほっとライン（相談窓口）作成・全戸配布
- 心と生命のカレンダー作成・全戸配布
- 強化地区11自治会心の健康づくり懇話会（冬期間）
- 八峰町職員生活苦対策プロジェクトチーム立ち上げ準備
- **緊急 12月 多重債務相談会**

心の健康づくり懇話会「囲炉裏端(いろりばた)」

～住民の声まとめ～

懇話会テーマ

「地域で自殺で亡くなる人を減らすために私たちにできること」
～地域の一人ひとりがどんなことを心がけたらよいだろうか?～

住民の声「キーワード」

1. 隣近所の付き合いを大切にする。仲良く暮らす。助け合う。
2. 基本はあいさつ・声かけ
3. 交流することが大事
4. 自治会として意識して集い、話合う機会をつくり大切にしてい
5. 生きがい、趣味を持つことが大事



「教育委員会」

心と命のコンサート

♪白神に響け生命の詩♪ 野田純子氏

「町国民健康保険」

中学生健康講座

“コミュニケーションの達人になろう”

秋田大学 佐々木久長氏



2009年 3月健康はっぼう21策定

～健康はっぼう21から抜粋～

健康づくりの主要指標と目標値

*世代別【○こども ◎働きざかり ●こうれい ☆こころ】

テーマ	世代別	指標	目標値	
			現状 2009	目標 2016
こころ の健康	◎	よい睡眠が得られる人を増やす	91.7%	95%
	●	早寝早起きをする人を増やす	調査	増加
	●	趣味の時間を持つ人を増やす	調査	増加
	☆	近所にちょっとした用事を頼める人がいる人を増やす	83.7%	95%
	☆	強いストレスがある人を減らす	17.5%	12%
	☆	自殺で亡くなる人を減らす	7人	0人



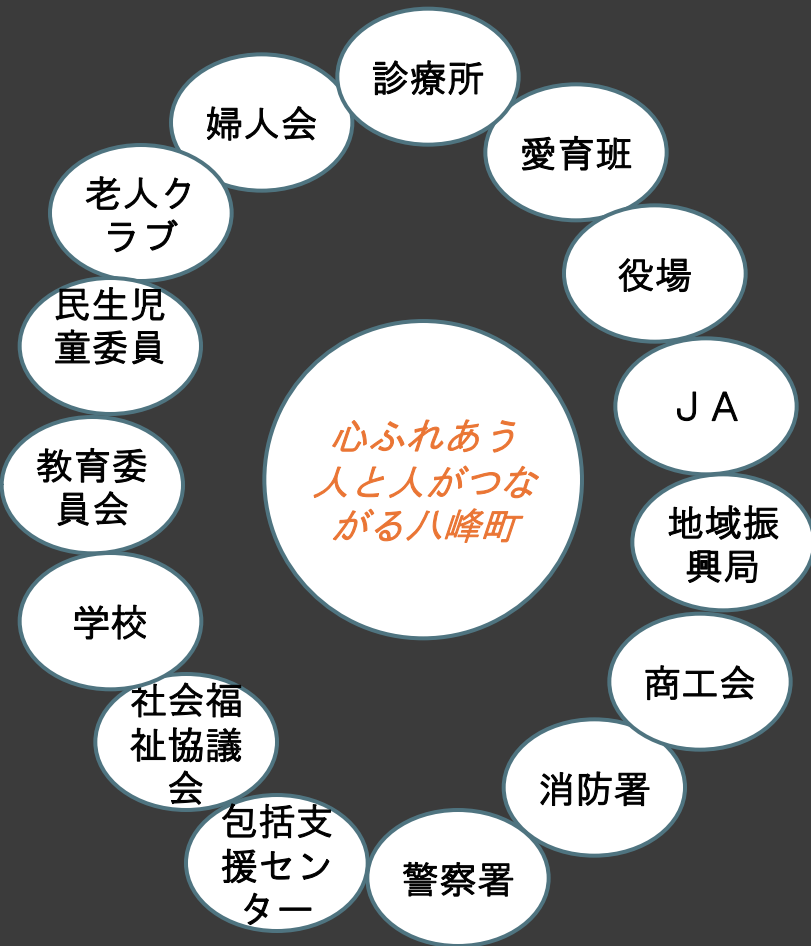
「健康はっぽう21推進事業と自殺予防対策」

～ひろがり 深まり つながりの健康づくり～

- 心分野の取り組み
ハーブ癒され隊
- 運動分野
楽しく散策取り組み隊
ラジオ体操取り組み隊
やさしいフィットネス取り組み隊等々…



八峰ふれあいネット



平成21年3月

提言

- 自殺予防の声を末端までどう届けるか？
- 地域全体をどう温めるか？

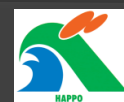
22年度へ！



取り組みの成果

「合併後4年間の取り組みの成果」

- 住民が自殺の現状を受け止め、自分たちの問題として捉え、“なんとかしよう”と行動し始めた。
- 行政・住民が一体となり新町の地域づくりの一つの取り組みになった。
- 児童生徒の「心と生命」の教育が強化された。



まとめ

1 合併がチャンス！ピンチをチャンスに！

- * 町の自殺の現状がわかった。

- * 思いを共有できる人が増えた。(住民&職員&保健師)

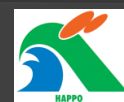
2 健康増進計画に自殺予防対策を位置付けた。

- * 住民参加型の策定は町の人と知り合う機会になった。

- * 対策を継続できる基盤ができた。(H28目標値 自殺者数ゼロ)

3 みんなが応援団！

- * 県、保健所、大学、住民、民間団体、教育機関、マスコミ



おわりに

合併を契機に自殺という健康課題に取り組むことで住民の気持ちをつなぎ、新町の地域づくりのひとつの登り口に立つことができました。「小さいながらも、心の通う町づくりに全力を尽くす」とする町長の理念とも一致し、住民とともに歩むことのできる保健師の活動に感謝しつつ、報告を終えます。

本日はありがとうございました。